

令和6年6月発行

世田谷区教育委員会事務局生涯学習課
世田谷区世田谷総合支所街づくり課

世田谷区からのお知らせ

フランク・ロイド・ライトが設計した 「旧林愛作邸」の現位置保存について 土地所有者とともに検討していきます



【写真】旧林愛作邸 玄関

世田谷区は、本年2月、土地所有者(住友不動産株式会社)へ「旧林愛作邸(周辺の池等を含む)の現位置での保存及び活用」を要望しました。これに対し、本年4月には、所有者から「現位置で保存することは社会的価値の高い取り組みである旨を以前より表明し、保存についての検討を進めてきたところであるが、その実現には、土地の合理的かつ健全な利用や適正な街区の形成による市街地環境の整備を図る都市計画諸制度等の活用が必要である。」との要望を受けました。

世田谷区としましては、周辺住民の皆様にも、貴重な歴史的建造物である旧林愛作邸の存在をご理解いただくとともに、現位置で保存するための方策について、検討していきます。

■旧林愛作邸案内図 (駒沢一丁目1番付近)



旧林愛作邸
(設計:フランク・ロイド・ライト)

駒沢一丁目1番地区

■「フランク・ロイド・ライト」とは

1867年、アメリカ合衆国生まれの建築家で、敷地環境や生活スタイルとの調和を重視した「有機的建築」を提唱し、後世の建築家に大きな影響を与えました。近代建築の三大巨匠とも称され、「フランク・ロイド・ライトの20世紀建築作品群」は、ユネスコ世界遺産に登録されています。日本に現存するフランク・ロイド・ライトの建築作品4棟のうち、2棟が重要文化財(自由学園明日館、旧山邑家住宅)、明治村に移築された旧帝国ホテル中央玄関が国登録有形文化財に指定されています。

■「林 愛作」とは

1873年群馬県生まれ、若くして渡米した後、東洋美術の貿易会社のニューヨーク支店長を務めていた1909年、渋沢栄一、大倉喜八郎に請われ、日本人として初の帝国ホテル支配人^{しやうへい}に就任しました。ホテル新本館の建設にあたり、貿易商時代から旧知のフランク・ロイド・ライトを設計者として招^{しょう}聘^{へい}し、フランク・ロイド・ライト作品を日本に残すきっかけをつくりました。

■「旧林愛作邸」とは

フランク・ロイド・ライトが帝国ホテル建設のために日米を往復していた1917年、自身を日本に招いた林愛作の自邸のために基本設計を描いた住宅です。林愛作は、自らも設立に協力した駒沢の東京ゴルフ倶楽部(現在は駒沢公園)の北側に広大な土地を取得し、自邸の敷地としました。そこに建つ住宅は、緩やかな傾斜地と一体となるよう屋根高を低く抑えた平屋建で、フランク・ロイド・ライトが得意としたプレーリースタイル(草原住宅)の特徴が表れています。重要文化財である2棟と同様に、将来に渡り現位置での保存が望まれる貴重な歴史的建造物です。



【重要文化財】
自由学園明日館
(豊島区西池袋)



【重要文化財】
旧山邑家住宅
(兵庫県芦屋市)



【国登録有形文化財】
旧帝国ホテル中央玄関
(愛知県犬山市)



旧林愛作邸
(世田谷区駒沢)

■今後について

今後7月を目途に周辺住民の皆様に対して旧林愛作邸に関する勉強会と、保存に向けた区の基本的な考えをお伝えする場を設ける予定です。開催日時は改めてお知らせいたします。

なお、以前中止のご連絡を差し上げた旧林愛作邸現地見学会につきましては、準備が整い次第改めてお知らせいたします。

■問い合わせ先

① 旧林愛作邸について	世田谷区 教育委員会事務局生涯学習課	湖東(ことう) TEL:03-3429-4264 FAX:03-3429-4267
② 街づくりについて	世田谷区 世田谷総合支所街づくり課	赤堀、佐藤、田中、岡澤 TEL:03-5432-2872 FAX:03-5432-3055